



# 明るい篠崎

■発行■  
 青少年育成篠崎地区委員会  
 総務部  
 ■事務局■  
 江戸川区生活振興部  
 東部事務所地域サービス係  
 江戸川区東瑞江1-17-1  
 電話 03(3679)1124

第43号 令和6年1月19日 青少年育成篠崎地区委員会発行



## 東部地域祭

青少年育成篠崎地区委員会

副委員長 須藤 一郎

新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年開催する事が出来なかった東部地域祭が四年ぶりに十一月十二日(日)に開催されました。

青少年育成篠崎地区委員会では江戸川区スポーツ推進委員、東婦会の皆様と共に「にぎやか広場」を担当し、エアートランポリンの「フアフアランド」、模擬店の「揚げたこ焼き、チーズケーキ、くじ引き」を出店いたしました。

当日は準備が完了した時点で、ポツポツと雨が降り、パレードや式典が終了した時点では本降りの雨となりました。このまま中止になるのではないかと心配されましたが、お昼前には雨も上がり、多くの来場者で賑わっていました。

コロナ禍でイベントの開催ができない状態が続いていたためなのか、四万八千人の人手となりました。

今回の開催にあたっては、篠崎地区委員会だけでなく、小学校のPTA、おやじの会など様々な団体からも販売や行列の整理などのご協力を頂きました。当日はトラブルや怪我人も出ることなく無事に終了したことで、また地域の諸団体との交流や連携も図ることができ、非常に有意義な一日となりました。



# 新年に思う

篠崎地区連合町会会長

松下 幸博



新年明けましておめでとうございませう。本年は十二支十干いわゆる干支で言う「甲辰年」にあたり「成功と言う芽が成長して行き其の姿を整えて行く」今までの苦勞などが癒されて和んでくる事を表していると言いますが過去、この干支の年では例えば、シドニー五輪で女子マラソンの高橋尚子選手、女子柔道の田村亮子選手の金メダル獲得でこの年日本は、金銀銅合計十八個のメダルを獲得しました。故に「龍の如く猛々しく新しい

# 新春を迎えて

東部事務所長

植田 光威



新年おめでとうございませう。平素から青少年育成篠崎地区委員会の皆様には、青少年の健全育成にご尽力いただき深く感謝申し上げます。特に、ここ数年は「新型コロナウイルスの感染拡大」という誰もが想像しなかった厳しい状

ことに挑戦する年、勇氣、粘り強さ、情熱的で自信に満ち溢れ整然とする。」地域づくりと、青少年健全育成に携わっていいいい年でありたいと存じます。本年はコロナ禍で出来なかつた事柄に挑戦して頂くのではありませぬか。青少年育成篠崎地区委員会委員長をはじめ、皆様方が地域の健全育成にご尽力いただながらも昨年この四十六回篠崎地区区民運動会は連合町会のみでの開催となりました。晴天に恵まれ清々しい競技ができましたのは第一一回より当時の体育指導員や青少年育成篠崎地区委員会、町会・自治会皆のご協力があった賜物です。それはそれぞれの力を信じて仲良く気持ち合せてきたからだと思えます。協力という絆、篠崎地区として盛り上がりを感じて競技内容を取り入れていただいた所以であると同時に、ご活躍していただいていることにも深く感謝申し上げます。

況の中、様々な制約を受けながらできる限りの活動に取り組みされた皆様の篠崎地区の子ども達に対する思いに感謝しありません。昨年の五月には「新型コロナウイルス」の感染法上の分類が引き下げられ、ようやくコロナ禍の終息が見えて来ましたが、「少子化」「インターネットの普及」「不登校」「ひきこもり」「非行」等、子ども達を取り巻く環境は常に変化しているため「青少年の健全育成」という課題への取り組みは決して歩みを止めることができません。これらの活動は、各分野のエキスパートである皆様が集結し、卓球大会やドッジボール大会、連絡調整会の開催など様々な切

さらに、篠崎地区委員会として、七月九日(日)の卓球大会や十月一日(日)のドッジボール大会も盛大に催されコート狭しと各選手頑張って競い合っていました。十一月の第四十七回東部地域祭も午前中はあいにくの雨でしたが、昼頃には天候も回復し、皆様の出足も良くなり、にぎやか広場部が運営する「フアフアランド」も長蛇の列で本当にお疲れ様でした。また、学校、地域、各種団体との連携調整を図る連絡調整会がございました。このようなスポーツと文化を取り入れた活動は篠崎地区委員会の知識と行動力を醸し出し、日頃の成果を生み出す活動力の基となり、さらにその力をもたらしてくれると思います。以上のようにスポーツと文化を取り込んだ中でこの活動行事の成果に、皆様方のご活躍と、ご健勝ご多幸をご祈念し本年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

り口で取り組むことで実を結び、住環境の整った街への発展に大きく寄与してきたことは言うまでもありません。近年「地震」「水害」のような未曾有の自然災害が篠崎地区にも突如として襲い掛かってくる可能性があることは否めない現状にあります。そうした災害からも街を守り、発展の歩みを止めないようにするためには皆様のお力添えが不可欠であります。私も微力ではありますが、皆様とともに力を合わせてまいりたいと思っておりますので、一層のご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願いたしました。



# 避難所運営ゲームの実践と学習

連絡調整部長 高橋好子



九月七日(木)、我々地区委員のほか、学校関係者をはじめとする地域の方々協力のもと、四年ぶりに連絡調整会が行われました。江戸川区地域防災課防犯防災係の中沖様の進行で「避難所運営ゲーム(HUG)」の実践と学習」というテーマのもと、ご参加いただいた皆様とグループごとにゲーム形式で避難所について学びました。HUGとは、避難所で起こる様々な出来事を疑似体験するゲームです。カードに書かれた被災者の情報をもとに、模造紙を避難所となる体育館や教室に見立て、配置しながら進めていきます。各グループには、地区委員のほか、学校の先生やPTA、民生児童委員、保護司などいろいろな方が集まり、リーダーシップを発揮する人も出てきました。被災者に見立てたカードをどこに配置するかは、各班で異なる答えが導き出され、様々なことを学ぶことができました。進行を務めていただいた中沖様をはじめとする地域防災課防犯防災係の皆様、参加していただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。

# 学校長あいさつ

篠崎小学校校長

佐藤 美緒



日頃より地域の皆様には、子どもたちが大変お世話になっております。また、地域での行事や取組では、子どもたちが楽しむ機会や活躍の機会をたくさんいただき、ありがたく思っております。

さて、本校は、昨年の夏に新校舎が完成しました。そして、十一月十日に、開校百四十周年と新校舎落成を記念す



る式典を挙行了しました。齊藤猛区長をはじめ、区議会議員の皆様や土地提供者の皆様、町会や地域の皆様など体育館いっぱいにお越しいただきました。式典に参加した五年生は、校歌斉唱を自分たちで作った手話で行いました。六年生は、本校の百四十年間を振り返り、これまで築いてこられた方々への感謝と新校舎完成の喜びとこれからの篠崎小の歴史をつくっていく決意を喜びの言葉として述べました。また「SDGsがわ10の行動目標」から自分自身が実践していることや今後さらに行っていくことを宣言しました。ソーラン節の踊りや金管クラブの演奏もありました。最後に皆様と一緒に歌った「ふるさと」の合唱では、地域の変遷を思い出して涙を流される方もいらっしゃいました。

午後には、タワーホール船堀で祝賀会を行いました。若駒太鼓で始まり、篠崎の獅子もみ、地域の方々からのメッセージなど、地域のおよきをみんなで感じて、笑顔が溢れるあたたかい会でした。

地域を愛し、地域に貢献できる児童を育み、今後も地域の皆様が誇りと思える学校づくりに努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 子ども会活動報告

ひまわり子ども会代表

小川 麻樹

私たちひまわり子ども会は、下篠崎町在住の子どもたちや篠崎第三小学校に通う子どもたちを中心に活動しております。

主な活動としては、地域の美化運動や卓球大会、ドッジボール大会や区民運動会に参加することです。また、夏の盆踊り大会では「やぎそば」など模擬店を保護者の方の協力のもと、お手伝いしております。今年は、色々な活動ができるようになり、子どもたちも笑顔で活動しています。

七月の卓球大会では、新一年生や初めて卓球をする子どもたちがたくさん参加しました。毎週土曜日の練習では、サーフも入らなかつた子が大会の時には、試合ができるようになったら、子どもたちの成長に驚かされました。



ひまわり子ども会は、篠崎第三小学校の体育館をお借りして地域や保護者の方の協力のもと活動することができています。今後も、地域活動に参加し、子どもたちの成長を感じながら楽しく、怪我のないように活動していきたいと考えております。

## 善行・表彰

●松下 幸博  
(篠崎地区連合町会長)  
(青少年育成篠崎地区委員会顧問)

「令和五年度区政功労者表彰式」にて、公共の職務に精励し、又は地域の振興に功労顕著な方として区政功労を受賞しました。

●長谷川 美子  
(青少年育成篠崎地区委員会副委員長)  
(令和五年度東京都青少年健全育成功労者等表彰式)にて、青少年育成協力者等感謝状を受賞しました。

# 第43回小学生ドッジボール大会

副委員長  
事業部長

山本恭裕

十月一日(日)、残暑の厳しい中、コロナ禍で活動を自粛していた小学生ドッジボール大会が四年ぶりに開催されました。「おはようございます」子どもたちの明るい笑顔や元気な声が校庭に溢れます。子ども会を中心にしたチーム、友達同志で結成したチームなど小学一年生から六年生の大勢の子どもたちにご参加をいただきました。

低学年・高学年・男子・女子に分かれた各コートでは白熱した試合が展開され、応援の声にも自然と力が入ってきます。毎回思うことですが、子どもたちのプレーを拝見し

ていると感心させられる事があります。最初は責任者の方からの作戦をもとにプレーしているのですが、ゲームが進につれ、試合の流れを感じ、チーム内で工夫を始めるのです。リーダーシップを取る子、得手不得手をお互いが補い合い、勝利に向かって一丸となつてのチームワーク、相手チームへのリスペクト、試合時間わずか五分の間での成長です。まさに、昨年行われたラグビーW杯の一流の選手たちのようです。

我々大人が瞬きをしている



間に子どもたちは驚くほどの成長を遂げています。青少年育成篠崎地区委員会では、今後も地域の宝である子どもたちの成長を見守り続けていきたいと強く感じます。振る舞ったかき氷を頬張りながら、額の汗を拭いもせず、目を輝かせながら笑顔で話す子どもたちの表情は、誇らしげに未来を照らしているかのようでした。



## 追悼

### 竹内善衛前委員長



昨年五月九日に本地区委員会竹内善衛前委員長が享年七十六歳にて逝去されました。竹内前委員長は平成八年以来、二十七年間の長きにわたる青少年育成活動に尽力していただいただけでなく、同時に地元消防団員として三十九年、また保護司としても三十九年、浴場組合江戸川支部の相談役なども務め、様々な面から地域活動を支えてくれた、縁の下の力持ちのような存在

でした。

その活動が評価され、平成二十五年には消防功労による区政功労者表彰、令和二年には更生保護功労として瑞宝双光章を授賞されました。

「おまかせするから、どうぞよろしく」が口癖で、各委員の自主性を尊重しながら活動を静かに見守ってくれていた穏やかな人柄は地区委員会すべての委員が尊敬しておりました。

篠崎地区委員会一同が竹内前委員長の遺志を引き継ぎ活動に邁進していくことを誓い、竹内善衛前委員長のご冥福をお祈りいたします。

相談役 小原泰子

## 編集後記

総務部 編集委員一同

皆様のご協力のおかげで「明るい篠崎」第四十三号を発行することができました。暮れのお忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様、誠にありがとうございました。